

1 本文と意訳

本 文	意 訳
①略して八句を説きて、如来の自利利他の功德莊嚴次第に成就したまえることを示現す。知るべし。(『浄土論』)	①略して八句を説き、如来の自利利他の功德が順次莊嚴成就されていることをあきらかに示した。この次第をよく承知すべきである。
②此れ云何が次第なる。	②これはどのような次第なのか。
③前の17句は是れ莊嚴国土功德成就なり。既に国土の相を知んぬ。国土の主を知るべし。是の故に次に仏の莊嚴功德を觀ぜよ。	③前の17句は、国土の功德が莊嚴成就されたものであった。すでに国土功德の相を知ったからには、その国土の主について知らなければならない。だから次に仏の莊嚴功德を觀ずるのである。
④この仏、いかんが莊嚴せる。	④彼の安樂国にまします仏は、どのような功德をもって莊嚴されておられるのか。
⑤何の処に於いてか座したもう。是の故にまず座を觀ぜよ。	⑤まずどのような場所に座っておられるのか。だから最初に座を觀ずるのである。
⑥既に座を知り ^{おわ} 已んぬ。宜しく座の主を知るべし。是の故に次に仏の莊嚴身業を觀ぜよ。	⑥既に座を知ったうえは、座の主を知らねばならない。だから次に仏の莊嚴身業功德を觀ずるのである。
⑦既に身業を知んぬ。何の声名か ^{まし} 有すと知るべし。是の故に次に仏の莊嚴口業を觀ぜよ。	⑦既に仏の身業を知ったうえは、どのようなみ声か知らなければならない。だから次に仏の莊嚴口業功德を觀ずるのである。
⑧既に名聞を知りぬ。宜しく得名の ^{ゆえ} 所以を知るべし。是の故に次に莊嚴心業を觀ぜよ。	⑧既に名の十方に聞こえることを知ったうえは、その名を得られた訳を知らねばならない。だから次に莊嚴心業功德を觀ずるのである。
⑨既に三業具足せることを知んぬ。まさに人天の大師として、化を受くるに堪えたる者は是れ誰なるべき。是の故に次に大衆の功德を觀ぜよ。	⑨既に三業が具足していることを知ったうえは、人天の大師たる仏より教化を受ける資格のある者は誰かを知らなければならない。だから次に仏の大衆の功德を觀ずるのである。
⑩既に大衆に無量の功德あることを知んぬ。宜しく上首は誰ぞと知るべし。是の故に次に上首を觀ず。上首は是れ仏なり。	⑩大衆に無量の功德があることを知ったうえは、大衆の上首は誰かを知らなければならない。だから次に上首を觀ずるのである。上首は仏である。
⑪既に上首を知んぬ。恐るらくは長幼に同じきことを。是の故に次に主を觀ず。	⑪既に上首について知ったうえは、それは長幼の区別と同じように理解される恐れがあるから、次に主を感ずるのである。
⑫既に是の主を知んぬ。主何なる増上か有す。是の故に次に不虛作住持功德を觀ず。	⑫既に上首は主であることを知ったうえは、主はどのような増上力を有しておられるかを知らなければならない。だから次にむなしくすぎゆくものなき住持力を觀ずるのである。

⑬八句の次第成じ已んぬ。

⑭以上で八句の次第を示し終わった。

2 天親の『浄土論』

「略して八句を説きて、如来の自利利他の功德莊嚴次第に成就したまえることを示現す。知るべし。」

○「八句」の仏莊嚴功德…如来の自利利他の功德莊嚴

・自利…座功德から主功德まで	} 阿弥陀の本願(十方衆生を救うための本願)
・利他…不虛作住持功德	

…若不生者(利他)不取正覚(自利)」

○天親 「**次第**に成就したまえることを示現す。知るべし。」

↓

曇鸞 「此れ云何が**次第**なる」

※曇鸞は、天親が「知るべし」といっているのは、「次第を知るべし」と述べていると理解した。すなわち、この次第とは、仏の救いの次第・原理であり、これが分らないと仏を見ることはできないのだと。それで、その次第を以下問うこととなる。

3 国土莊嚴と仏莊嚴との次第

「前の17句は是れ莊嚴国土功德成就なり。既に国土の相を知んぬ。国土の主を知るべし。是の故に次に仏の莊嚴功德を觀ぜよ。」

○「既に国土の相を知りぬ」…器世間(国土莊嚴17種)…衆生を受容し生かす環境・歸依処

↓

「国土の主を知るべし」…国土の主は仏

・国土(浄土)の功德を莊嚴した主

・衆生を国土へ往生させる主(願生の人を誕生させる主)

○「願偈大意」との関係…次第を語っている

「この願偈は何の義をか明かす。彼の安樂世界を觀じて、阿弥陀如来を見たてまつり、彼の国に生ぜんと願ずることを示現するがゆえなり。」

・「彼の安樂世界を觀じて」…清淨功德「觀彼世界相」…觀は内觀・照らされる…聞

淨入願心

「この三種の莊嚴は**願心をもって莊嚴せり**(いのちそのものの願い・一切衆生が帰るべき世界を表現した)と知るべし。」浄土論

「應知というは、この三種の莊嚴は、**本48願等の清淨願心の莊嚴したまう所**なる」

觀行体相

「いかにが彼の仏国土の莊嚴功德を觀察する。彼の仏国土の莊嚴功德は、**不可思議力を成就**するが故に…。この中の仏土不可思議に二種の力有り。一には業力、謂わく、法蔵菩薩の出世の善根と大願業力との所成なり。二には正覚の阿弥陀法王善住持力に攝せられたり。」

・「阿弥陀如来を見たてまつり」…本願力が阿弥陀如来(不虛作住持功德「觀仏本願力」)

※浄土の観察を通して、いのちそのものの願いに背く自己が内観され、その自己を救うために法蔵菩薩が本願を起こされご苦勞された仏の心が知らされる。そして、いのちそのものの願いに安住することが可能となる。

起観生信

「云何が観じ云何が**信心を生ず**」

観察体相の示生信益

「この17種の莊嚴成就を観ずれば、能く**真実の浄信を生じて**、必定して彼の安樂仏土に生を得となり」

回心
(拠り所の転換)

名義撰対

「向に無染清浄心、安清浄心、樂清浄心を説きつ。この三種の心は、略して**一処にして(私の心の中に)妙樂勝真心(信心)を成就**するなり。知るべし。」

尊号真像銘文17/4

「如来の**本願力をみそなわずに願力を信ずる人**はむなくここにとどまらずとなり」

不虛作住持功德

「この菩薩、安樂浄土に生ぜんと願いて、即ち阿弥陀仏を見たてまつる。**阿弥陀仏を見たてまつる時、上地の諸の菩薩と畢竟じて身等しく法等し**。龍樹菩薩、娑菟槃頭菩薩の輩、^{かしこ}彼に生ぜんと願ずるは、当にこれが為なるべしならくのみ。」…阿弥陀の本願の世界に生まれると**還相の菩薩が誕生**

・「彼の国に生ぜんと願ずる」…いのちそのものの願いに帰る歩み(得生者の情)
「普共諸衆生 往生安樂国」

4 八句次第

①座功德 「無量大宝王 微妙浄華台」

○観經の華座観 2/11～

・「未来の衆生当に云何して無量寿仏及び二菩薩を觀たてまつるべき」

↓

・華座観…仏の在します座を觀ずる

「此の如きの妙華は是れ法蔵菩薩の**願力**の所成なり」…因(本願)…慈悲 仏の
「八万四千の**光**有り」…果…尽十方無碍光如来…智慧 総相

↓本願と光明の具体相…「業」…無明存在に対し具体的に生きてはたらく仏の行相

②身業功德 「相好**光**一尋 **色像**超群生」…光明のはたらき

○国土莊嚴…**形相**功德 「浄光妙満足 如鏡日月輪」

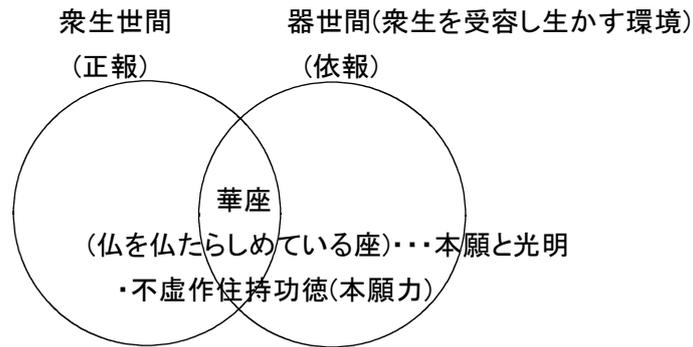
妙色功德 「無垢光炎熾 明浄曜世間」 光明(形なき本願

光明功德 「仏慧明浄日 除世痴闇冥」 の行相)

○仏身 「表現によって**真実**が具体化される。表現をもたないとなると、**真実**というものが抽象概念になる。ギリシャの考え方は、無限よりも有限の方が高いと見る。形ないものが、有限の形をとったことに価値を認める。」 衆生虚誑

- 「法身は無相なり。無相の故に能く相ならざることなし。この故に相好
 莊嚴すなわち(方便)法身なり。」浄入願心
- 32相・80随形好…身は仏の功德の集合体…眼・眉間・耳等全て訴えか
 けるものがある。像を通して、
 像なき仏の心に触れる。
- ③口業功德 「如来微妙声 梵響聞十方」…名号のはたらき } 声を通して声なき
 ○国土莊嚴…名声功德 「梵声悟深遠 微妙聞十方」 } 心に触れる
- ④心業功德 「同地水火風 虚空無分別」 }
 ○国土莊嚴…主功德 「正覚阿弥陀 法王善住持」 } 本願(仏の心)
 ○心業功德…本願…体
 ↓色(形・相・像・色・声)…形なきものの象徴
- 身業功德…光明 }
 口業功德…名号 } 用
 ↓仏を他との関係で示す(安田先生)
- ⑤大衆功德 「天人不動衆 清浄智海生」 } 如来から生まれた大衆
 ○国土莊嚴…眷属功德 「如来浄華衆 正覚華化生」 } 僧伽(平等一如の如来の共同体)
 ○「まさに人天の大師として、化を受くるに堪えたる者」…仏の教化を受ける資格のある者
 ・不宿の義「二乗雑善の中下の死骸を宿さず」…自我の絶対否定を通してしか入れない
- ⑥上首功德 「如須弥山王 勝妙無過者」
 ○「上首はこれ仏なり」…大衆功德で仏も衆生も平等なることを説いたが、ここでは平等に
 する者と平等にされる者との差別を示す。あくまでも仏が上首で
 ある。(安田先生)
- ⑦主功德 「天人丈夫衆 恭敬遶瞻仰」
 ○「恐るらくは長幼に同じきことを」…仏が衆生より上といっても長幼の序と同じではない。
 「天人大衆恭敬して倦きことなからしめん」という関係
 である。
- ⑧不虛作住持功德 「観仏本願力 遇無空過者 能令速満足 功德大宝海」
 ○「主何なる増上か有す。」…なぜいくら恭敬しても倦きないかというと、弥陀の本願力は
 人生を決して虚しく終わらせなるとの無い増上力を住持し
 ておられるからである。

の三業を
治す



↓ 本願力の具体的な行相

- ・身業功德(光明) ・形相功德、妙色功德、光明功德
- ・口業功德(名号) ・妙声功德
- ・心業功德(本願) ・主功德(不虛作住持功德)

↓

- ・衆生の三業の虚誑を治する

↓ 正覚の華より化生した衆生

- ・大衆功德 ・眷属功德
- ・上首功德
- ・主功德